

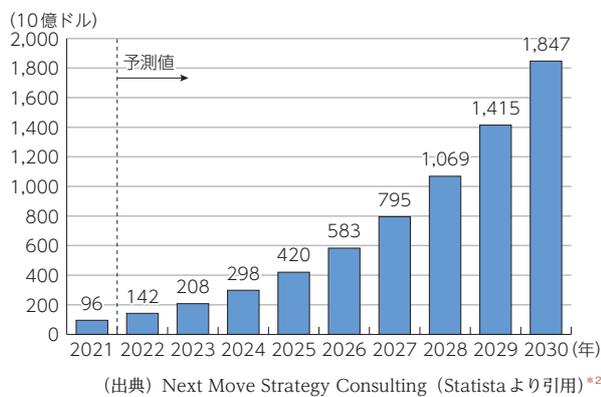
第9節 AIの動向

1 市場概況

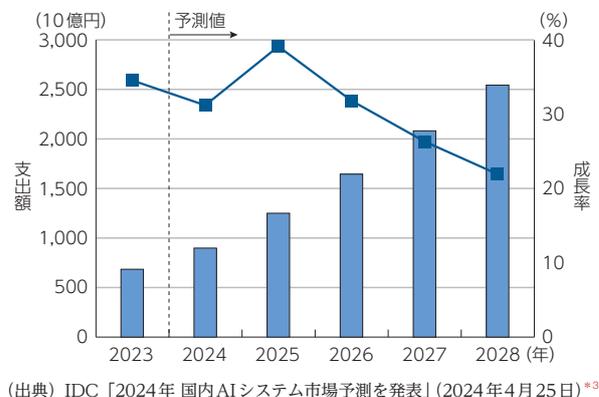
世界のAI市場規模（売上高）は、2022年には前年比78.4%増の18兆7,148億円まで成長すると見込まれており、その後も2030年まで加速度的成長が予測されている（図表Ⅱ-1-9-1）。

日本のAIシステム^{*1}市場規模（支出額）は、2023年に6,858億7,300万円（前年比34.5%増）となっており、今後も成長を続け、2028年には2兆5,433億6,200万円まで拡大すると予測されている（図表Ⅱ-1-9-2）。

図表Ⅱ-1-9-1 世界のAI市場規模（売上高）の推移及び予測



図表Ⅱ-1-9-2 国内AIシステムの市場規模（支出額）及び予測



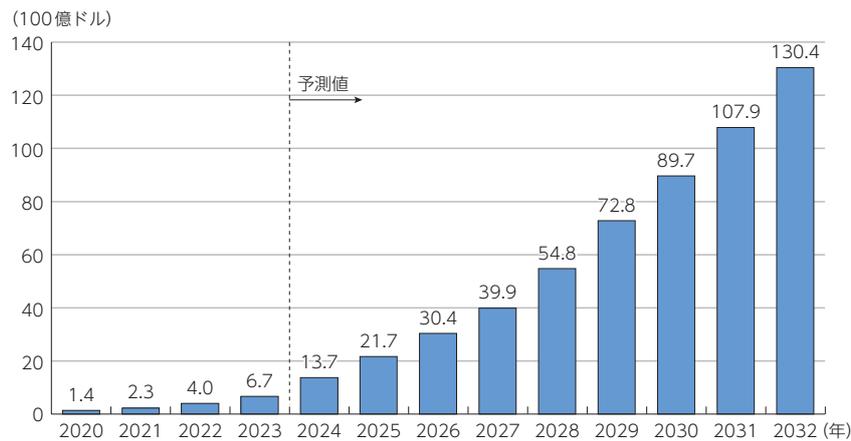
また、AIの社会実装が進んでおり、文章、画像、音声、動画などをAIが生成する、いわゆる生成AIが目立っている。世界の生成AI市場は、2023年の670億ドルから2032年には1兆3,040億ドルと大幅な拡大が見込まれている。背景には、GoogleのBard、OpenAIのChatGPT、Midjourney, Inc.のMidjourneyなど、近年の生成AIツールの爆発的な普及がある。生成AIは文章だけではなく、画像、音声、動画など様々な種類のコンテンツ生成が可能で、その応用範囲は広い。例えば、マーケティング、セールス、カスタマーサポート、データ分析、検索、教育、小説や法律等、多くの分野で活用されている。さらに、コンピュータプログラムやデザインの生成も可能であり、人手不足対策や生産性向上の目的でも利用されている（図表Ⅱ-1-9-3）。

*1 AI機能を利用するためのハードウェア、ソフトウェア・プラットフォーム及びAIシステム構築に関わるITサービス

*2 <https://www.statista.com/statistics/1365145/artificial-intelligence-market-size/>

*3 <https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJPJ52070224>

図表Ⅱ-1-9-3 世界の生成AI市場規模の推移及び予測



(出典) Bloomberg (Statistaより引用)^{*4}

2 AIを巡る各国等の動向

AIはまだ技術的に発展途上であり、ビジネスの基礎となる研究が世界各地で行われている。AIRankingsでは、論文数などを基に研究をリードする国や企業・大学等が公表されている。国別では、米国、中国、イギリス、ドイツ、カナダの順となっており、日本は毎年11~12位となっている。

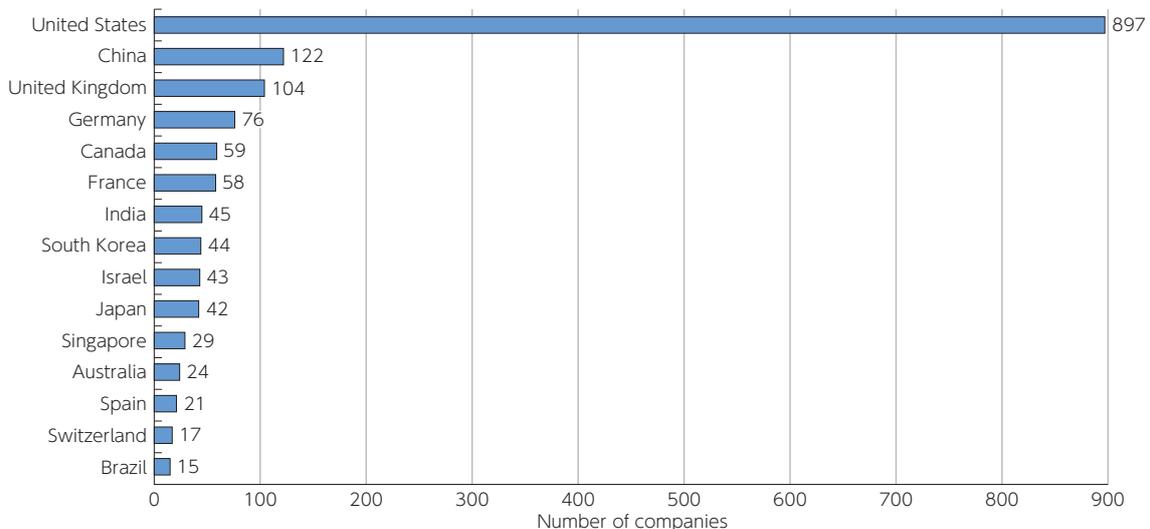
関連データ 国別AIランキング (Top15) の推移

出典：AIRankingsを基に作成
URL：<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r06/html/datashu.html#f00291>
(データ集)



AI関連企業への投資も活発化しており、スタンフォード大学が公表した報告書「Artificial Intelligence Index Report 2024」によれば、2023年に新たに資金調達を受けたAI企業数は、米国が897社で1位、中国が122社で2位、日本が42社で10位となっている (図表Ⅱ-1-9-4)。

図表Ⅱ-1-9-4 新たに資金調達を受けたAI企業数 (国別・2023年)



(出典) Stanford University 「Artificial Intelligence Index Report 2024」^{*5}

*4 <https://www.statista.com/statistics/1417151/generative-ai-revenue-worldwide/>

*5 https://aiindex.stanford.edu/wp-content/uploads/2024/04/HAI_AI-Index-Report-2024_Master.pdf